



審査の様子



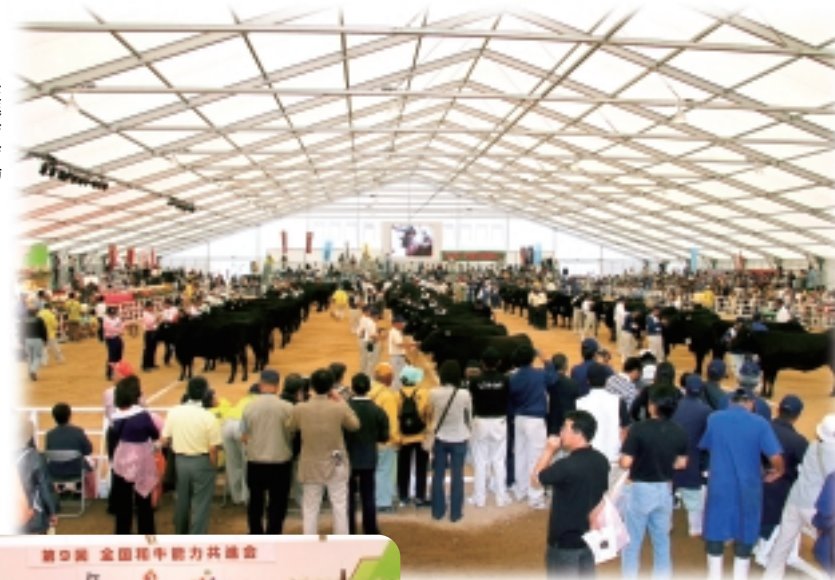
選手団532人が入場行進(写真は島根県代表)

全国和牛能力共進会成績

第1区 若雄(優等賞12席) 「桜一博」号 杠 修 出品(横田) 第5区 繁殖雌牛群(優等賞9席) 「さち」号 森山 義治 出品(馬木) 「しゅうれい6」号 長谷川博男 出品(阿井) 「ひかり6」号 稲村 清義 出品(阿井) 「ふくしげ」号 岩田 孝史 出品(横田)	第6区 高等登録群(優等賞7席) 「よしざくら」号 児玉八重子 出品(鳥上) 「はるざくら」号 嵐谷千恵美 出品(鳥上) 「こはる」号 高橋 幸雄 出品(鳥上) 第7区 総合評価群(2等賞1席) 「福吉」号 仁多肥育センター出品
---	---

5年に1度の晴れ舞台 第9回全国和牛能力共進会

共進会会場



全国の優秀な和牛を集めてその資質を競う「第九回全国和牛能力共進会」が、十月十一日から十四日まで鳥取県米子市で開催されました。五年に一度開催される、「和牛のオリンピック」と呼ばれるこの共進会には、全国三十八道府県から厳しい予選を勝ち抜いた和牛(種牛三百三十三頭、肉牛百八十一頭)が集結し、全九区で体形や肉質などを競い、「和牛日本一」を目指しました。



島根県からは二十七頭が出品され、うち奥出雲町からは九頭が代表として出場しました。圧倒的な飼育頭数を擁し、「和牛王国」を誇る宮崎、鹿児島などが各區で上位を占める中、島根県勢は、第九區の肉牛部門において優等賞三席に、又本町出品牛も一區、五區、六區が優等賞に輝き、「しまね和牛」の名声を全国にアピールしました。

期間中、奥出雲町からは、たくさんのお客様が会場に駆けつけ声援を送りました。最終の比較審査では、「島根県奥出雲町和牛改良組合」の名前が呼ばれ、出品牛が前列へ引き出されると、会場からは大きな拍手と声援が送られました。町ではこれまで全共に向けて、平成十七年九月に出品対策協議会を立ち上げ、生産者、改良組合、JAな



第1区

ど関係機関が一丸となって候補牛の巡回指導並びに集合審査会等を実施し、出品対策に取り組んできました。また、愛牛を手塩にかけて飼育に携わってこられた生産者の方々はもちろん、和牛改良組合各支部や地域をあげた応援体制で共に臨まれました。この間、出品牛の手入れ、調教など関係者の長期間にわたるご努力に対し、心から敬意を表します。



第6区



第5区

奥出雲和牛の名声を高める

平成十九年度島根県種畜共進会

十月二十八日、松江市の島根中央家畜市場で、平成十九年度島根県種畜共進会が開催されました。今回の共進会には、鳥取県で行われた全国和牛能力共進会が開催されたこともあり、例年以上に磨き上げられた、県内の市町村から選抜された

肉・乳用種牛約九十頭が出品され、発育、栄養度などについて審査が行われました。奥出雲町を代表して、肉用種牛の部に六頭、乳用種牛の部に四頭が出品され、藤原トミ子さん(横田)の出品牛「あやざくら1」号が肉用種牛・若成雌牛区で首席に選ばれま

した。また、他の出品牛も多く上位入賞を果たし、奥出雲和牛の名声を高めました。これからも地域をあげて優良牛の飼育に取り組んでいきましょう。

平成十九年度 島根県種畜共進会成績

肉用種牛の部

出品区	成績序列	名号	出品者	地区
第3区 若雌牛	一等賞 三席	「さくら」号	森山 義治	馬木
第4区 若成雌牛	一等賞 首席	「あやざくら」号	藤原 トミ子	横田
第4区 若成雌牛	一等賞 次席	「ゆきざくら」号	矢木 伸一郎	龜嵩
第4区 若成雌牛	一等賞 十席	「ふたば」号	伊帳田 力雄	横田
第4区 若成雌牛	一等賞 十一席	「こはるびより」号	泰中 満	阿井
第4区 若成雌牛	二等賞	「さつき」号	郷原 代乙	三成

乳用種牛の部

出品区	成績序列	名号	出品者	地区
第1区 未經産牛A	二等賞	ヒツアロンアスベン	若槻 隆	横田
第2区 未經産牛B	一等賞 三席	ヒツアロニヒト	和泉 芳邦	横田
第4区 経産牛A	一等賞 次席	申請中	小池 俊彦	横田
第4区 経産牛A	一等賞 七席	ヒューマンハイブロン	和泉 芳邦	横田